

# 令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 まほろば福祉会

## 目 次

○ 法 人 本 部	．．．．．	1
○ ワークステーションやじろべえ	．．．．．	3
○ 障害者支援施設 翼	．．．．．	10
○ さくら さくら	．．．．．	16
○ 天領の杜・ひらり	．．．．．	23
○ 相談サポートまほろば	．．．．．	29
○ 地 域 支 援 局	．．．．．	31

## 令和4年度法人本部事業報告書（案）

### I 事業概要

- 1 4月に山下元理事長を想う会を開催し、利用者・職員・教育・医療・行政関係者等これまでゆかりのあった方々が来られ、DVDや写真等を目にしなが、ヤス子元理事長の功績に心から敬意を表し、在りし日の姿に思いをはせた。
- 2 東諸県拠点事業ひらり改修工事は、事故等もなく工事が完了し、4月から事業開始した。
- 3 職員処遇の向上として、非常勤職員、登録ヘルパーに通勤手当の支給を開始した。
- 4 職員の療養休暇及び休職をうけて、「私傷病による職員の休職及び復職に関する規程」の制定を行った。
- 5 令和4年度新型コロナウイルス感染者は利用者36名、職員44名の合計80名が感染した。全事業所の営業停止期間は33日間となった。
- 6 大野昌亮監事の退任に伴い、齋藤義見監事が就任した。
- 7 理事会4回、評議員会3回開催した。（書面審議含む）

### II 事業の状況

#### 1 事業実績

項目名	目標値	実績値
サービス活動増減差額率	10.5%	8.8%
当期活動収支差額	110,000,000円	97,576,640円

#### (1) 目標に届かなかった要因

- ① 新型コロナウイルス感染症による営業停止による減収。
- ② 人件費の増（非常勤職員・ヘルパー通勤手当94名 376万円、社会保険適用拡大による法定福利の増26名 358万円）
- ③ 保健衛生費（新型コロナウイルス感染防止対策備品購入費用の増278万円）
- ④ 物価高騰による水道光熱費の増（241万円）

#### 2 事業進捗状況

##### (1) 翼建替え工事

令和4年10月に入札会を実施し、最低価格提示者の株式会社中野産業と協議の上、12月に契約を締結した。1月に着工したが、既設浄化槽の移設に時間を要した為、第1期工事の完了が7月から9月に変更された。令和6年3月の工事完了に向けて現在は順調に進んでいる。

##### (2) 人材確保とキャリアパス制度の導入

新卒採用者1名、契約職員からの登用2名、中途採用3名の6名を正職員として採用した。（生活支援員、職業指導員、看護師）

キャリアパス制度については、人材育成計画・評価基準の整備を進めている。また、関連するマニュアルの作成として、接遇マニュアルや記録の書き方の整備を各拠点の代表職員で取り組んだ。

(3) 社会保険適用拡大への対応

令和4年10月の社会保険適用拡大に伴い、非常勤職員及び登録ヘルパーのうち26名が新たに社会保険加入となった。そのうち2名の職員においては、業務の効率性や効果性の向上を図るため勤務時間の延長を行った。

(4) 放課後等デイサービスの再検討

プロジェクトチームにおいて、跡江地区での事業実施が困難な状況の中、どのように進めていくか検討を行った。結果、法人の持つ資源を最大限活用して事業を行っていくことが、より質の高いサービスの提供ができるとの結論に至り、次年度以降についても跡江地区を含む、近隣地域での実施に向けて検討していくことになった。

(5) 職場復帰支援

職員の療養休暇及び休職をうけて、「私傷病による職員の休職及び復職に関する規程」の制定を行った。衛生管理委員会を中心に産業医と連携し、職員については職場復帰支援プログラムを2か月間実施したのち、職場復帰を果たすことができた。

(6) 監査関係

- 社会保険被保険者資格及び報酬調査（令和4年5月19日）
- 宮崎税務署源泉所得税調査（令和5年1月18日）
- 宮崎県社会福祉法人指導監査（令和5年2月14日）

Ⅲ 職員研修関係

- 新人職員研修（6名）
- ケアテックス福岡

Ⅳ 行事関係

- 永年勤続表彰（5名）
- 山下ヤス子元理事長を想う会

Ⅴ 決算状況（別添決算書参照）

## 令和4年度 やじろべえ事業報告書（案）

### I. 事業の概要

1. やじろべえは平成3年7月の開設以来、障がいのある方の“就労支援”に特化したサービスを提供してきたが、令和元年度から3ヶ年計画で事業体系を見直し、「障がいのある方の『働く・くらす』をサポートする」体制を構築して一年が経過した。

Yumeハウスやじろべえ1号館、2号館とも満床になり、個々の状況に合わせた居宅介護の派遣体制も確立され、利用者の「くらす」ニーズへの対応を図ることができた。

2. 就労継続支援B型事業の新規利用者は6名であったが、就職者1名のほか、長期療養や入院、生活介護事業所への転籍など高齢化及び障がいの重度化に伴う退所者が増え、前期末から2人減の41人となった。また、あわせてコロナにおける利用控えもまだ見られることから給付費収入が大きく減少した。

コロナ陽性者発生に伴う事業の休止は1日のみであったが、一年間での感染者総数は7人となった。

3. 就労支援においては、工賃アップを最大の目標に掲げ利用者・職員が一体となって取り組んできた。しかし、コロナ禍で積極的な営業活動ができず、売り上げは前年度と比較すると若干増えたが目標値には程遠い結果となった。

一昨年度から取り組んでいるホームページ作成・更新作業やお中元・お歳暮時期に合わせた季節商品販売への取り組みを継続して行ったほか、新たな作業としてフェイスマスクの折作業を請け負うこととなった。



まほろば福祉会ホームページ



フェイスマスク折作業①



フェイスマスク折作業②

4. 虐待防止・権利擁護に関して、宮崎県社会就労センター協議会主催の研修会に参加するとともに、「虐待防止のための指針」及び「身体拘束等の適正化のための指針」について4月1日付けで制定し、職員に周知を行った。

5. 設備整備関係では、老朽化によって故障が頻発していたオフセット印刷機（中古機）を

8月に買い替えた。このことで品質の向上を図ることができた。また、宮崎県庁友会の助成事業により「レーザー彫刻機」を新たに導入した。

その他、21万km以上走行車など、入れ替え時期を迎えた送迎車両が数台あるため、リースの見直しや助成事業への申請などを行っていく。



中古印刷機の導入(排紙部)



中古印刷機の導入(給紙部)



「レーザー彫刻機」

6. 職員の状況について、年度途中での異動や育休者2名、事務職員の退職など発生し、最大で3名の人員不足が生じたが、全職員でフォローしながら乗り切ることができた。

新年度に3名の職員を雇用したが、できる限り長く定着してもらえるよう法人主催の新人職員研修のほかに、“就労支援”という専門的分野についても懇切丁寧に行っていく。

## II. 事業の状況

### 1. 就労継続支援B型事業

#### (1) 事業実績

	令和4年度		令和3年度	令和2年度	
	目標値	実績値	実績値	実績値	
利用者定員	40人	40人	40人	34人	
登録利用者数	52人	44人	49人	55人	
開所日数	267日	253日	259日	261日	
一日平均利用者数	40人	34.2人	36.2人	39.8人	
利用者延べ人数	10,680人	8,654人	9,382人	10,401人	
介護給付費収入 (利用者負担金含む)	80,000,000円	71,174,012円	75,828,420円	82,873,106円	
平均工賃月額	24,000円	22,013円	21,826円	20,528円	
工賃支給総額	14,500,000円	10,984,295円	11,677,170円	12,234,920円	
就労支援 収入	印刷	30,000,000円	24,129,102円	23,781,736円	22,815,809円
	請負	4,000,000円	3,725,243円	3,553,575円	1,458,946円

#### (2) 事業成果と課題

① 昨年度と比較して一日平均利用者数が2人減、登録利用者数も2人減となり、こ

れらに比例して給付費も 465 万円の減収となった。また、月 2 回の土曜営業を祝日営業に変更（-13 日）したことも影響した。

今後は、事業の安定化を図る観点からも祝日営業に加えて土曜営業の復活に加え、相談支援事業所や宮崎市社会福祉課等への広報活動を行い、新規利用者の獲得に努めることが喫緊の課題である。

●利用契約状況

定員	期首	新規契約	退 所					期末
			就職	長期療養	入院	他所	その他	
40 人	43 人	6 人	1 人	2 人	1 人	4 人	0 人	41 人

② 平均工賃については 22,013 円となり、昨年度より僅かではあるが 187 円増額することができた。

就労支援収入は一昨年、昨年と同様にコロナ禍の影響が大きく、売上げが低調であった。また、度重なる原材料等の高騰も影響が大きく、高騰分を顧客へ転嫁することが難しいため、経費節減やミスの削減への取り組みが重要となってきた。

就労支援科目は大きく分けて一般印刷・アパレル印刷・軽作業の 3 部門であるが、軽作業についてはより収益率の高い新たな作業の情報収集に努め、収益率の高い一般印刷・アパレル印刷についてはコロナ禍でもできる営業体制の確立と季節商品販売の拡大を全職員が一丸となり取り組む。※主な顧客別売上状況については別添のとおり



オンデマンド印刷機



シルク印刷機



きゅうり選別・袋詰め作業



日向夏選別・袋詰め作業

③ 「東国原知事メモ帳」、「トイレで神話タオル（古事記編纂 1300 年）」に続くオリジナル製品の第三弾として、「神楽Tシャツ・ファイルバッグ」の製造販売を「みやぎ物産館 KONNE」で始めたが、PR活動が全くできなかった。ホームページ

やインスタグラムなどを活用しての広報や他の土産物店、道の駅等への営業を行っていくとともに、「レーザー彫刻機」での商品開発も進めていく。



物産館で販売中の神楽Tシャツ(白)



物産館で販売中の神楽エコバッグ



商品開発中のプレート (キーホルダー)

## 2. 居宅介護事業・外出介護事業・シェアハウス (Yumeハウス)

### (1) 事業実績

#### ① 居宅介護事業

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	10人	9人	9人	7人
介護給付費収入 (利用者負担含む)	41,500,000円	46,375,378円	37,291,400円	20,595,510円

#### ② 外出介護事業

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	—	7人	5人	5人
受託事業収入	—	163,370円	248,370円	230,730円

### (2) 事業成果と課題

- ① Yumeハウスやじろべえ1号館の空き部屋が10月に解消され、給付費は目標値を超えることができた。ただ、体調不良による入院等があったため、利用者の健康管理に十分注意した支援を行っていく。
- ② ヘルパーの退職に伴いヘルパー不足が生じた。人手不足は深刻な問題であるため、ストレスがたまらない働きやすい環境を整えたい。

## Ⅲ. 感染症対策

1. インフルエンザワクチン接種については、希望する利用者・職員に対し10月に実施(嘱

託医)し、新型コロナウイルスワクチン接種については、希望する利用者・職員に令和4年5月から令和4年3月にかけて3回実施(嘱託医及びかかりつけ医)した。

2. 6月に職員1名が新型コロナウイルス感染症に罹患し、さらに利用者1名が2次感染した。また、8月以降にも感染者が数名発生し、1月にはYumeハウスやじろべえ2号館で合計3名(職員2名、利用者1名)が罹患した。日頃から感染症対策を徹底して行ってきたことにより3次感染を防ぐことができた。
3. 新型コロナ陽性者の発生を受けて、感染症対策、感染症対策チェックリスト、新型コロナウイルス感染症施設対応フローチャートの見直しを随時行った。
4. 「感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針」について4月1日付けで制定し、職員に周知を行った。

#### IV. 非常災害対策

1. 地域住民や地元消防団等の協力が得られやすいよう自治会に加入し、近隣住民とも良好な関係を築いてきた。
2. 総合防災訓練や火災、地震、水害による避難訓練、AED操作などについては年間計画に基づいて実施できた。
3. 次年度はまだ作成途中である事業継続計画(BCP)の完成に取り組む。



避難訓練(点呼)



避難訓練(初期消火)

#### V. 職員研修関係

1. 介護福祉士等の資格所得者はいなかったが、今後も職員の資質向上、自己研鑽のための資格取得に向けての支援を継続していく。
2. 施設外研修は新型コロナウイルス感染症の影響によりWeb(オンライン、オンデマンド)研修となることがほとんどであったが、九州社会就労センター研究大会、宮崎県社会就労センター職員研修I・II、施設長研修、課題別専門研修に参加することができた。

#### VI. 地域貢献活動及び行事関係

やじろべえ祭や地域の諸行事(祭り大塚など)、中学校の職場体験学習の受入れが中止となったが、地域貢献活動の一環として行っている地域清掃活動(年2回)と教育免許取得に係る介護等体験受入れ、各行事食(焼肉会・クリスマス会・芋煮会)を行った。



地域清掃活動の様子①



地域清掃活動の様子②



風来軒キッチンカー①



風来軒キッチンカー②



芋煮会



花見：西都原古墳

VII. 決算状況（別添決算書参照）

●主な顧客別売上状況(年額)

顧客名	金額	主な印刷物・作業等
宮崎労働局	927,190 円	雇用状況、就職説明会ポスター・チラシほか
高齢・障害・求職者支援機構	708,017 円	封筒、名刺
宮崎河川国道事務所	112,200 円	封筒
宮崎県 障がい福祉課	1,290,289 円	おもいやり駐車場、受給者証ほか
宮崎県 健康増進課	370,852 円	受給者証ほか
県総合博物館	340,956 円	年報
県福祉人材センター	235,400 円	ふくしの体験学習チラシほか
県埋蔵文化財センター	103,257 円	報告書
県警察学校	231,700 円	Tシャツ
県立学校退職校長会	151,774 円	総会資料ほか
宮崎市青少協	825,000 円	
しまだ喜代子市議	529,300 円	議会活動だより、封筒、名刺
宮崎公立大学	423,500 円	学生要覧
宮崎西高校	497,050 円	西高手帳、封筒
宮崎商業高校	111,100 円	封筒
みやざき中央支援学校	359,150 円	P T A新聞、Tシャツ
みなみのかぜ支援学校	108,000 円	Tシャツ
清武せいりゅう支援学校	77,800 円	Tシャツ
赤江まつばら支援学校	80,000 円	P T A新聞
大宮小学校	460,820 円	名札、P T A新聞、P T A総会資料
大宮中学校	351,300 円	P T A新聞
加納小学校	337,500 円	P T A新聞
加納中学校	277,200 円	P T A新聞
古城小学校	102,000 円	P T A新聞
大塚地区社協	297,000 円	広報誌、マップ、ステッカーほか
杉田眼科医院	248,380 円	診察券、カルテほか
宮崎県南部郵便局長会	451,550 円	会報誌、総会資料ほか
宮崎県神社庁(神宮会館)	198,200 円	しおり、封筒、名刺ほか
SVC宮崎	119,230 円	講座募集チラシ、活動ベストほか
P'mas(ピーマス)	440,550 円	Tシャツ
ニワメシ	336,325 円	イベントTシャツ・マスク
日本ラグビーフットボール協会	203,500 円	ポスターほか
藤屋印刷	337,187 円	封入れ、シール貼り作業他
宮崎なかむら農園	416,210 円	日向夏、きゅうりの選別・袋詰め作業
兼重青果	306,120 円	千切り大根の選別・袋詰め作業

## 令和4年度 障害者支援施設 翼 事業報告書（案）

### I. 事業の概要

1. 権利擁護についての職員の意識向上を図るため、地域支援局と合同で宮崎市出前講座による障がい者虐待防止・権利擁護研修を実施した。また、障がい者虐待防止の更なる推進のため、「ほっとすてーしょん翼 虐待防止のための指針」「ほっとすてーしょん翼 身体拘束の適正化のための指針」について職員へ周知を図った。新たに「ほっとすてーしょん翼 ハラスメント防止のための指針」を作成した。
2. 利用者の高齢化・重度化及び翼新築移転後を見据えて、利用者が安心・安全に支援を受けられることができ、かつ職員の介護負担軽減を図るため、福祉機器や介護ロボットの導入について検討を行った。また、業務の効率化を図り利用者支援の時間を確保するため、人工知能（AI）による勤務表自動作成システムをテスト導入・検証を行い、1月より本格的に導入をした。
3. 3月に宮崎市の実地指導を受検した。従業者の常勤換算の算定方法や利用契約締結から個別支援計画の作成の流れ等について助言を受け、算定要件等の再確認や書類の見直しを行い整備した。

### II. 事業の状況

#### 1. 入 所

##### (1) 事業実績

		令和4年度		令和3年度	令和2年度
		目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員		32名	32名	32名	32名
登録利用者数		—	—	—	—
開所 日数	生活介護	261日	261日	261日	261日
	施設入所支援	365日	365日	365日	365日
一日平均利用者数		31.3名	30.8名	31.4名	31.4名
利用者 延べ人 数	生活介護	8,280名	8,033名	8,189名	8,195名
	施設入所支援	11,454名	11,229名	11,445名	11,454名
介護給付費収入 (利用者負担を含む)		207,100,000円	209,397,325円	207,413,983円	203,264,839円

##### (2) 事業成果と課題

- ① 入退所状況では、4名の利用者が退所された。退所理由は、手厚い医療的な支援が必要となった方が1名、死去された方が3名であった。また、新たに3名の方が入所されたが、新型コロナウイルス感染状況の影響もあり、新規入所者の調整にか

なりの時間を要した。今後は相談支援事業所をはじめ関係機関と連携を図りながら入所希望者の確保に努めていきたい。

- ② 利用実績では、1日平均利用者数 30.8 名となり前年度より減少した。要因としては、退所後に空床が続いたことや延べ入院日数の増加があげられる。延べ入院日数については、年々増加傾向にあり、前年度比 39 日増となった。入院日数を減らすため日頃から利用者の健康管理に努め、基本的な介護技術の見直しやリハビリ、誤嚥予防・口腔ケアの徹底を行っていききたい。
- ③ 介護給付費収入は、8 月より常勤看護職員等配置加算がⅢからⅡへ変更となり減収となったが、8 月より生活介護でも処遇改善加算や特定処遇改善加算を取得するようになったこと等から前年度並みの収入となった。
- ④ コロナ禍でも利用者の満足度を高めるため、施設内で楽しめる行事の実施や県の警報等に応じて条件付きではあるが面会や園外行事を再開した。今後も利用者のニーズに応じた魅力あるサービスを工夫して実施していききたい。

## 2. 短期入所

### (1) 事業実績

	令和 4 年度		令和 3 年度	令和 2 年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	3 名	3 名	3 名	3 名
登録利用者数	16 名	16 名	15 名	10 名
開所日数	365 日	365 日	365 日	365 日
一日平均利用者数	0.6 名	0.2 名	0.3 名	0.3 名
利用者延べ人数	216 名	105 名	122 名	110 名
介護給付費収入 (利用者負担を含む)	1,350,000 円	1,062,076 円	1,006,982 円	989,020 円

### (2) 事業成果と課題

- ① 新規利用者 5 名と契約したものの、これまで登録されていた利用者が施設入所される等契約終了となったため、登録利用者数は前年度とほぼ同じとなった。また、新規利用者の多くが知的障害の方であり、今後は知的障害についても研修を行い、障害特性を理解して支援を行っていききたい。
- ② 利用実績では、一日平均利用者数と利用者延べ人数共に減少した。要因としては、10 月に施設で新型コロナウイルス感染症陽性者の対応をしていたため受け入れを一時中止したこと等があげられる。
- ③ 介護給付費収入は、在宅での生活が困難となった利用者 1 名が長期で利用されたこともあり、目標値には届かず前年度並みの収入となった。

### Ⅲ. 感染症対策

1. 5月に利用者4名（うち、短期入所利用者1名）、9月に利用者5名、職員4名が新型コロナウイルス感染症に罹患した。その間、宮崎市保健所や宮崎市障がい福祉課はじめ関係機関から感染拡大防止対策についての助言・指導を受けながら対応を行った。新型コロナウイルス感染症陽性者の発生を受けて、当初想定していた事業継続計画（BCP）と対応が大きく異なったため、収束後に見直し・変更を行った。
2. 感染症対策委員会を設置し、「ほっとすてーしょん翼 感染対策指針」を作成した。今後は、感染対策に対する正しい知識（予防・環境整備・発生時の対応）の習得や研修、事業継続計画に沿った訓練を行っていく。

### Ⅳ. 非常災害対策

1. 防火管理者を中心に火災、地震、風水害による避難訓練及び研修を実施した。また、DVD視聴による防災研修や救命救急法には利用者にも参加していただいた。
2. 安否 Life メール（職員用災害メール）の使用方法を職員へ周知し、活用して情報提供を行ったことで、職員の意識を高めることができた。

月	内 容	月	内 容
5月	・防災研修 (風水害：DVD視聴)	9月	・防災訓練（火災昼間想定） ・防災訓練（地震） ・全体研修（地震による火災）
6月	・救命救急法	11月	・利用者と避難所までのルート 確認
7月	・防犯に関する研修 ・防災訓練（風水害）	12月	・防災訓練 (消火器・消火栓の取り扱い)
8月	・防災訓練（火災夜間想定）		

### Ⅴ. 職員研修関係

1. 職員の資質向上、自己研鑽のための資格取得に向けての研修への参加については勤務調整をする等して支援を行った。
2. 委員会を中心として、障がい者虐待防止・権利擁護研修、感染症対策研修、事例研究などの研修を実施した。
3. 施設外研修は新型コロナウイルス感染症の影響により延期、Web（オンライン・オンデマンド研修）となることがほとんどであったが、積極的に参加することができた。

VI. 行事関係

月	内 容	月	内 容
4月	・フラワーフェスタ (散歩、焼肉会)	11月	・贅沢お食事会 (宮崎牛ステーキ)
7月	・ラーメン実演 (風来軒)	12月	・クリスマス会
8月	・ピザ・ソフトクリームパーティ ・ミニ納涼祭	1月	・初詣ドライブ
9月	・バイキング ・キッチンカーイベント	2月	・おやつバイキング
10月	・テイクアウト (お寿司：海舟寿し)	3月	・お花見会

VII. 決算状況 (別紙決算書参照)

## 障害者支援施設 翼 主な行事

ラーメン実演(風来軒)



焼肉会



ミニ納涼祭①



ミニ納涼祭②



キッチンカーイベント①



キッチンカーイベント②



クリスマス会①



クリスマス会②



初詣ドライブ



救命救急法



感染症研修(ガウンテクニック)



防犯研修



## 令和4年度 さくら館 事業報告書(案)

### I. 概要

1. 7月13日(水)新型コロナ感染者の一報を受け、約2週間程で、職員13名と利用者9名、計22名のクラスターが確認され、特に、居宅介護事業での感染拡大が止まらず、自宅待機の期間が長期に及んだ。利用者様の療養期間中は、保健所(新型コロナウイルス防疫対策室)と連携し、健康観察を行い、幸い22名の感染者で重症化する事もなく、回復され日常生活に戻れることができた。
2. 生活介護の介護収入については、7月に、コロナクラスターで、さくら館を閉館した影響により、前年度の7月と比較すると約530万円の減収となった。しかし、その他の受入利用者数では、前年度対比では、全て上回り、74名増となった。看護師加算Ⅲ(看護師を常勤換算で3人以上)の取得も加わり、介護収入は、約1.7%の増収となった。居宅介護事業の介護収入は、介護保険(訪問介護)での減収があったが、新シェアハウスひまわりの定員増やコロナ待機期間での支給量見直しなどがあり、居宅介護総合では約9%の増収となった。  
生活介護、居宅介護とも前年を上回り、給付費収入合計が令和3年度比6%の増となる見込みである。両事業とも、下半期からベースアップ加算も含まれている。
3. 7月1日に、シェアハウスひまわりがオープンした。株式会社小園工務店の施工により、請負代金は51,535,000円であった。

### II. 事業の状況

#### 1. 生活介護事業

##### (1) 事業実績

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用定員	20名	20名	20名	20名
登録利用者数	40名	38名	37名	35名
開所日数	257日	241日	251日	259日
一日平均利用者数	23.0名	24.6名	23.3名	23.9名
利用者延べ人数	5,911名	5,916名	5,842名	6,196名
介護給付費収入	101,090,000円	104,064,900円	102,267,900円	106,156,545円

#### 2. 事業の成果と課題

- (1) 介護保険に移行された方が1名(日高様)、病气療養で亡くなられた方が2名退所し、新規契約利用者が1名(水永様)であった。年間の利用者受け入れ数は、74名増5,916名、前年度比10日減の営業日数だった。利用者受け入れが伸びたのは、8月以降の

コロナ関連での利用控えが減った事や、感染後や濃厚接触者での待機期間の短縮が影響している。

- (2) 年間12日間の祝日営業を行い、延べ288名の受け入れが出来た。
- (3) コロナの影響で、園内活動の企画を多く行った。キッチンカーを2回（唐揚げフード、ラーメン）、園内プールの設置、喫茶店コーナーでのお菓子販売などで楽しむことが出来た。また、今年は、忘年会をシェラトンで企画し、ホテル側と施設側で感染対策等を十分に行った上で、利用者及び家族、職員総勢58名で盛大に行うことができた。
- (4) 6つの委員会（サービス向上・虐待防止・医療連携・給食・送迎・身体拘束）の定期的な会議や報告などで、サービスの向上や事故防止に繋がった。送迎については、今年度も、事故報告0を達成した（4年継続）。新たに、身体拘束検討委員会を設置した。
- (5) 医療行為（経管栄養、インスリン、胃ろう、褥瘡処置、与薬）が多くなっていることから、2名の常勤の看護師を追加し、非常勤看護師2名を含めた4名体制で、医療ケアの充実を図る体制を整えた。
- (6) 生活介護支援員を居宅介護従業者として、常勤兼務とした。複数の職員が早出・遅出・夜勤明け・振替休みなどの勤務形態となる為、勤怠管理が複雑になっている。

### Ⅲ. 居宅介護事業

#### 1. 事業の実績

##### 【居宅介護】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録利用者数	15名	13名	17名
介護給付費収入	111,679,330円	98,667,790円	99,447,204円

##### 【重度訪問介護】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録利用者数	2名	2名	2名
介護給付費収入	23,619,470円	23,388,840円	22,594,740円

##### 【外出介護】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	14名	14名	18名
介護給付費収入	2,506,854円	2,467,444円	2,536,948円

【同行援護】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録利用者数	1名	1名	1名
介護給付費収入	420,160円	465,000円	273,310円

【訪問介護】

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録利用者数	2名	2名	3名
介護給付費収入	3,999,290円	4,240,505円	5,220,096円

【居宅介護総合】

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	14名	16名	17名	16名
介護給付費収入	125,260,000円	142,225,104円	129,968,850円	130,072,298円

2. 事業の成果と課題

- (1) シェアハウスひまわりの定員を1名を増員し4名定員として、令和4年7月1日にオープンした。シェアハウスあさがおも10月に増築工事を行い、定員を1名増員し4名定員となった。シェアハウスくろーばー4名と合わせて、シェアハウス利用者は12名となった。現在のところ満床である。
- (2) 専任の登録ヘルパーの新規採用が0名だった。夜勤専従だった専任ヘルパーが退職し、現在、実働9名の登録ヘルパーである。3名が60歳を超えており、人材確保が課題となっている。人手不足解消として、生活介護支援員、看護師、理学療法士、事務員での兼務派遣体制を整えている。また、シェアハウスが跡江にそろった事で、シェアハウス支援を中心に地の利を生かした派遣体制でシフト編成ができています。
- (3) シェアハウスくろーばーは、大塚台から跡江に拠点を移し、令和5年6月で丸7年を迎える。法人内で初めて、シェアハウスを始めた大塚台からは、通算13年目。跡江に移転してから、利用者の入れ替わりもなく運営できている。利用者間の対人関係が良好である。
- (4) ヘルパーミーティングやシェアハウス支援者会議を定期的に行い、積極的にSNS等も取り入れ、タイムリーな情報の発信、受信、情報の共有に努めた。
- (5) 新規利用者2名（シェアハウス1名、在宅1名）
- (6) 在宅での医療的ケアの範囲が広がりつつある。在宅酸素の利用者が2名。さらに、インスリン注射、吸引や胃ろうへの対応などである。今後も、かかりつけ医や訪問看護との連携を密に行っていきたい。
- (7) 旧ひまわりの返却が、令和4年12月23日に完了した。平成25年11月オープンから9年間の賃貸であった。インフォーマルな社会資源創出であった。現在は、あさが

おが賃貸契約物件である。

### Ⅲ. 感染症対策

1. 7月のクラスターで、職員13名と利用者9名、計22名が感染した。11月にも、シェアハウスあさがおで、利用者が家族内で感染判明。その後、利用者1名、職員2名が感染したが、入院や隔離等で、感染拡大を防ぐことが出来た。コロナ感染者は、令和4年度の累計では、職員23名、利用者15名が感染した。

### Ⅳ. 年間報告一覧表

1. 行事関係
2. 防災訓練関係
3. 職員研修関係

## 令和4年度 さくら館行事・イベント関係

4月19日	フェニックス自然動物園(中止)	10月21日 10月25日	運動会 丑の日
5月13日	キッチンカーDE からあげ	11月18日 11月21日 11月29日	芋煮会 イオンで買い物 キッチンカーでクレープ祭
6月17日 6月20日	器楽クラブ演奏会 さくらさくら縁日	12月16日	利用者忘年会 IN シェラトン
7月	イベントなし	令和4年 1月5/6日	初詣(江田神社)
8月19日	スイカ割り 夏だプールださくら館	2月6日	西都温泉 麦湯
9月21日	馬事公苑・綾散策	3月3日 3月6日 3月29日	ひな祭り キッチンカーでラーメン 西都原公園

## 令和4年度 防災訓練関係

4月25日	避難訓練(アスカ防災)	10月26日	避難訓練(アスカ防災)
5月10日	食中毒について ライフライン停止	12月26日	乾燥による火事のリスク
6月24日	熱中症対策について	1月23日	寒波によるリスク
7月8日	台風対策講座	2月20日	Jアラートについての説明
8月17日	防災食体験	3月7日	防災クイズ
9月12日	自然災害とは		

## 令和4年度 研修受講状況

6月4日	車輛事故防止のための心がけ 実車体験
9月27日 9月30日	居宅介護虐待防止研修・身体拘束等適正化のための指針説明会 生活介護虐待防止研修・身体拘束等適正化のための指針説明会
11月14日、15日	福祉有償運送サービス運転従事者養成講習
2月24日	訪問系介護職員研修



さくら農園



防災食体験



火災訓練



虐待研修





西都原公園



ラグビー観戦



さくらフェスティバル



シェラトンにて忘年会



シェアハウスひまわり  
令和4年7月1日オープン



## 令和4年度 天領の杜・ひらり事業報告書（案）

### I. 事業の概要

- ① ひらりへの移転準備や改修工事が始まり慌ただしい1年であったが、これまでの業務についての見直しや新たな取り組みについて話し合う機会も増えたことにより職員全員で検討した移転計画を進めることが出来た。
- ② ホームに入居されていた2名の方が12月、2月にお亡くなりになった。そのうち1名の方は、精神的な原因から薬の服用をされなくなり、元々の疾患が悪化した。もう1名の方は、救急搬送後1週間で息を引き取られてしまった。それぞれのかかりつけ医に相談や、必要時には受診を行い様子を見ていたが、残念な結果となってしまった。医療機関との連携、支援のあり方について考えさせられた。
- ③ 3月に宮崎県指導監査・援護課より居宅介護・重度訪問介護の実地指導を受け、福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）について、すべての職員に対しての周知すること、個別支援作成について計画変更時のアセスメントを行い、利用者の状況の把握・分析し課題を明らかにするようにとの指導を受け、必要書類等を準備し、直ちに整備した。

### II. 事業の状況

#### 1. 生活介護事業（天領の杜）

##### (1) 事業実績

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	20名	20名	20名	20名
登録利用者数	30名	27名	24名	24名
開所日数	265日	256日	263日	263日
一日平均利用者数	17.3名	16.3名	15.9名	15.9名
利用者延べ人数	4,600名	4,177名	4,197名	4,196名
介護給付費収入 (利用者負担含む)	67,200,000円	65,163,610円	63,304,670円	63,646,690円

##### (2) 事業成果と課題

- ① 体調不良のため長期で休まれていた1名の方が退所となった。新規利用者3名獲得を目標していたが、4名を獲得することが出来、登録利用者数が27名となった。
- ④ 新型コロナウイルス感染のため、営業が出来ない日もあり開所日数が予定より減ったことにより、目標人数等、目標達成することが出来なかった。
- ⑤ 新型コロナのウイルス感染症の影響もあり、園外活動を中止することもあったが、施設内での行事等で楽しめる活動を計画した。
- ⑥ 通所利用日を増やしたいという希望者もおられるため、入浴や送迎等の体制を整え、利用者増に努めていきたい。

- ⑦ ひらり移転に向け、リハビリ機器も充実することで計画に沿ったリハビリが実施出来るようになり、個別ニーズに対応していきたい。
- ⑧ 利用者増により、利用者全員での園外活動が難しくなっている、また、感染対策として、分散し、小規模での園外活動を実施していきたい
- ⑨ 支援学校や相談支援事業所からの問い合わせも少しずつ増えてきているが、ホームページ等で情報発信をしていきたい。

## 2. 居宅介護等事業（ひらり）

### （1）事業実績

#### ・居宅介護

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	—	11名	11名	10名
介護給付費収入 (利用者負担含む)	9,300,000	91,931,720円	83,252,610円	94,279,090円

#### ・重度訪問介護

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	—	0名	2名	2名
介護給付費収入 (利用者負担含む)	23,400,000	16,006,680円	23,410,320円	18,135,960円

#### ・訪問介護

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	—	10名	9名	10名
介護給付費収入 (利用者負担含む)	22,900,000	21,462,360円	19,275,550円	20,435,510円

#### ・外出介護

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	—	13名	14名	14名
介護給付費収入 (利用者負担含む)	—	3,082,500円	2,695,360円	3,434,540円

### （2）事業成果と課題

- ① ひらりに移転し1年経過し増収を見込んでいたが、入院者が4名おられ、うち2名が1ヶ月以上の長期入院となり、目標数値には達成出来なかった。
- ② 重度訪問介護については、2名おられたが、12月、2月にお亡くなりになり、登

録利用者が0名となった。

- ③ 訪問介護については、ともしびに2月より1名入居者され、昨年度より増収となったが、満床にはなっていないため、目標数値に届かなかった。
- ④ 新規ヘルパー3名の採用があったが、退職した契約職員、ヘルパーが5名おり、ヘルパーの人数が足りていないが、兼務職員による派遣にて利用者支援を行っている。
- ⑤ 外出介護については、感染対策を行いながら実施した。

### 3. 福祉ホーム（天領の杜・喜楽家）

#### （1）事業実績

- ① 天領の杜入居者が2名死去され、現在2床が空いている状態である。

#### （2）事業成果と課題

- ① 新型コロナウイルス感染者については、8月に生活介護利用者より感染された方が1名、1月に職員より感染された方が1名おられたが、利用者への感染が増えることなかった。また、職員、ヘルパーも感染時の対策に沿って対応したことで蔓延することはなかった。
- ② 入院者は3名おられたが、検査入院が2名、定期受診後の結果が悪く入院となった方が1名となった。訪問看護が入ることで、かかりつけ医との連携もスムーズになり、体調不良時には速やかな受診の対応に努めていきたい。
- ③ 新規入居者の確保については、相談支援事業所と連携していく。

### 4. 有料老人ホーム（みんなの家ともしび）

#### （1）事業実績

- ① 2部屋が空床の状態が続いていたが、2月に1名入居された。

#### （2）事業成果と課題

- ① 朝、夕のバイタルチェックを行い、健康管理に努めた。また、看取りについての方向性も対象利用者のご家族やケアマネジャーと進めることが出来た。
- ② 1名の方が、外部のデイサービスより新型コロナウイルスに感染されたが、感染対策に沿っての対応にて、他に感染者は見られなかった。
- ③ 面会の制限があり、入居者の状況がわからないため、家族に向けての通信を作成し、毎月郵送し日常の様子をお伝えすることができご家族より喜ばれた。
- ④ 外部のデイサービス利用以外の日中の活動時間をつくり、創作活動や口腔体操など実施し生活の質の向上に努めた。また、週に1回、理学療法士によるリハビリの時間を設け、機能維持に努めた。

## Ⅲ. 感染対策

- ・新型コロナウイルスに職員が5名、利用者が5名感染された。

- ・抗原検査キットを準備し熱発時に使用した。
- ・県より職員に対しての検査キットの配布があり、週2回の検査を実施した。
- ・各車両に消毒、体温計を携帯しお迎えの時に検温を行った。
- ・朝、夕の消毒の徹底。

#### IV. 非常災害対策

- ・昨年の台風14号の際は、ひらりに避難を行った。前日よりベッドや発電機、食材等の準備を行い、当日はスムーズに避難・誘導が行えた。しばらくして停電となり発電機を使用しエアマットや鼻マスク等の対応が出来た。

#### V. 職員研修関係

- ・県社協の研修については、ZOOMでの研修に参加することが出来た。
- ・虐待防止・権利擁護研修、感染症対策研修などの施設内研修を実施した。

#### VI. 行事関係

4月		10月	運動会
5月		11月	フェニックス動物園
6月	ほんものセンター	12月	クリスマス会
7月	納涼祭	1月	初詣
8月	焼肉会	2月	
9月	焼肉会	3月	お花見(天ヶ城公園) キッチンカー(ラーメン)

#### VII. 決算状況(別添決算書参照)



天領・ともしび合同運動会



綾の雛山まつり



合同クリスマス会



職員研修  
食べ方セミナー～むせた時、詰まった時の対処法～



園外活動～フェニックス自然動物園～



防災訓練



## 相談サポートまほろば事業報告書（案）

### I 事業の概要

相談支援契約者数は、前所長に引継ぎを行ったことで、前年度 234 名から 8 月時点で一時は 168 名(71.8%)まで減少したが、関係機関への働きかけなどにより、微増の 177 名(令和 5 年 3 月末)の登録者数となっている。

平成 30 年から給付開始された「サービス提供時モニタリング」については各相談員が、毎月 6 件以上を継続したことで、前年比 125.7%になり、今後も継続し請求・記録漏れのないように注意したい。

新規利用者受け入れの働きかけもあり、宮崎市障がい者基幹相談支援センターからの相談依頼が増加し、障がい児の相談も基幹センターである宮崎市総合発達支援センター「おおぞら」や宮崎市障がい者総合サポートセンターからの 10 名の依頼を受けている。基幹センターとの連携もできており、機能強化型事業所としての役割も果たすことができている。

継続しての取り組みとして、利用者満足度の向上と、相談支援への満足度を確認することができるよう、全利用者の計画書に「相談支援」の支援項目を計画更新時に順次加えていくこと。また、独居されている障がい者等、災害時に特に支援が必要な利用者については、サービス等利用計画に災害対策の支援項目を加え、担当者会議には民生委員や福祉協力員等の地域の方々にも参加をお願いし、地域との連携強化を図っていきたい。

### II 事業の状況

#### (1)事業実績

	令和 4 年度		令和 3 年度	令和 2 年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録者人数	238 名	177 名	234 名	217 名
計画作成件数	217 件	166 件	192 件	222 件
モニタリング件数	550 件	477 件	531 件	438 件
サービス提供時モニタリング件数	217 件	269 件	214 件	209 件
給付費	12,552,900 円	9,064,380 円	12,447,680 円	11,710,200 円

#### (2)事業成果と課題

令和 4 年度の登録者数と給付費の減少は理由が明確であるため、今後は少しでも早く令和 3 年度以上の契約者数の確保に努めるとともに利用者の視点で相談資質の向上を図っていく必要がある。

### III 感染対策

相談支援事業は、他の事業所や個人宅を訪問して行う事業であるので、感染対策には万全を期して行っていく必要がある。今後も法人事務局が奨励する対応を適切に遵守し感染対策を行う。

#### IV 非常災害対策

相談支援事業所の独自の避難訓練等の実施はなく、地域支援局が実施する避難訓練や人命救助訓練に参加している。

#### V 職員研修

宮崎市障がい者基幹相談支援センターや、自立支援協議会の各部会が開催する各種研修会へ参加している。

#### VI 自立生活援助事業について

2名の利用者は前所長に引継ぎ、1名の利用者への支援を継続している。今後も利用者が地域で安心して自立した生活ができるように支援を継続していきたい。

#### VII 決算状況（別添決算書参照）

## 令和 4 年度地域支援局事業報告書（案）

### I 事業の概要

- 1 虐待防止の取り組みとして、外部講師（宮崎市障がい福祉課）を招いての研修や虐待防止アンケートを実施した。また、身体拘束についても定例会議において適正化の検討を行い、職員の意識向上を図った。
- 2 日中活動の在り方について見直しを行い、入浴のない午前中の時間をより充実して過ごして頂けるように、リハビリやレクリエーションを中心に計画的に実施してきた。利用者の方と職員の笑顔や笑い声がフロアに響くようになってきたが、今後も更なる充実を図っていききたい。

### II 事業の状況

#### 1 生活介護、地域密着型通所介護

##### （1）事業実績

##### 【生活介護】

	令和 4 年度		令和 3 年度	令和 2 年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	20 名	20 名	20 名	20 名
登録利用者数	34 名	28 名	32 名	34 名
開所日数	265 日	265 日	259 日	270 日
一日平均利用者数	19.5 名	18.4 名	19.1 名	19.5 名
利用者延べ人数	5,300 名	4,885 名	4,962 名	5,273 名
介護給付費収入	83,000,000 円	76,894,740 円	78,473,470 円	83,839,060 円

##### 【地域密着型通所介護】

	令和 4 年度		令和 3 年度	令和 2 年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
利用者定員	10 名	10 名	10 名	10 名
登録利用者数	8 名	8 名	8 名	8 名
開所日数	258 日	258 日	248 日	260 日
一日平均利用者数	5.8 名	6.1 名	5.6 名	5.8 名
利用者延べ人数	1,500 名	1,598 名	1,391 名	1,507 名
介護給付費収入	6,800,000 円	8,911,620 円	7,568,350 円	7,938,276 円

##### 【通所総合】

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
一日平均利用者数	24.4 名	24.5 名	25.1 名
利用者延べ人数	6,483 名	6,353 名	6,780 名
介護給付費収入	85,806,360 円	86,041,820 円	91,777,336 円

## (2) 事業成果と課題

① 生活介護事業は利用者数の減少により、前年度を下回る結果となった。事業計画の新規利用者3名との契約は達成できたが、退所者数が上回り目標達成とはいかなかった。目標達成に向けて開所日数を増やしたり自助努力を図ったが、現在の利用者の方だけでは支給量の上限もあるため思うように伸びなかった。安定した事業運営のためにも登録利用者数を増やしていきたい。

入退所の状況としては、退所者10名、新規利用者6名を受け入れた。退所理由は5名が死去、2名は長期にわたり休まれている方の契約解除、1名が長期入院、1名はご家族が福祉事業所を開所したことによる退所、1名が翼に入所された。

② 地域密着型通所介護事業は延べ人数が増加し、目標値を上回ることができた。介護保険制度においては、個々のサービス利用状況に応じて、通所日数に限りがあるが、開所日数を増やしたこともあり増収となった。また、10月と3月に運営推進会議を実施した。

入退所の状況は、1名退所（死去）、新規利用者1名の受け入れを行った。

## 2 居宅介護、訪問介護、BE・FREE、Be Fine

### (1) 事業実績

#### 【居宅介護】

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	19名	19名	19名	21名
介護給付費収入	105,000,000円	96,844,340円	93,783,830円	102,495,336円

#### 【重度訪問介護】

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	4名	4名	4名	3名
介護給付費収入	25,000,000円	33,765,850円	26,236,840円	22,430,150円

#### 【同行援護】

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	2名	1名	2名	2名
介護給付費収入	1,200,000円	1,023,590円	1,217,390円	1,222,310円

### 【外出介護】

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	18名	17名	19名	20名
介護給付費収入	2,000,000円	1,518,510円	1,834,340円	1,633,160円

### 【訪問介護】

	令和4年度		令和3年度	令和2年度
	目標値	実績値	実績値	実績値
登録利用者数	11名	11名	12名	12名
介護給付費収入	19,500,000円	19,693,377円	19,900,102円	21,525,800円

## (2) 事業成果と課題

- ① 居宅介護事業は、目標値には届かなかったが、介護給付費100万円増、ベースアップ加算による160万円の計260万円の増収となった。  
入退所の状況は、2名が退所され（施設入所・死去）、新規利用者2名と契約を行った。
- ② 重度訪問介護事業は、前年度末に1名増えたこともあり、前年度より増収となった。
- ③ 同行援護・外出介護については前年度より若干減少した。同行援護は1名契約終了（施設入所）、外出介護はコロナの影響もあり外出の機会が減少した。
- ④ 訪問介護事業は、昨年度とほぼ同様の利用率であった。
- ⑤ BE・FREEは男性2名が退所（死去）された。新規利用者は女性1名が7月より、3月より男性1名が入所された。Be Fineについては、入退所の動向はなかった。

## Ⅲ 感染症対策

令和4年度においては、10月に職員の感染が判明し、保健所からの指導により3日間通所の営業を停止した。また、11月にBE・FREE利用者の方1名の感染があった。感染経路が不明であったが、その後の支援において感染防止対策を行い支援にあたり、他者への感染を防ぐことができた。

## Ⅳ 非常災害対策

令和4年9月に発生した台風14号による被害は無かったが、跡江川の氾濫によりこれまでの台風の中で最も浸水の水位が高かった。台風通過後に浸水状況等を検証し、ほっとすてーしょん翼「避難の目安」の見直しを行った。

V 職員研修関係

6月	救命救急法講習	1月	虐待防止アンケートの実施 食事介助研修 虐待防止研修（居宅）
7月	防犯研修	通年	宮崎県社会福祉協議会主催研修 職員復命研修
9月	防災研修		
11月	新型コロナウイルス感染症 対策研修		
12月	虐待防止研修		

VI 行事関係

4月	焼肉会、こねこ展	10月	買い物
5月		11月	動物園 生目地区文化祭出展
6月	プチ納涼祭	12月	クリスマス会
7月	ラーメン実演	1月	初詣ドライブ
8月	キッチンカーイベント（ピ ザ・ソフトクリーム）	2月	豆まき
9月	キッチンカー（バナナジュ ース）、果物狩り	3月	

VII 決算状況（別添決算書参照）

園外活動（岩合光昭 こねこ展）



キッチンカーばななーな



園外活動（お買い物）



園外活動（フェニックス自然動物園）



クリスマス会



初詣ドライブ



さくらスタダカフェ



アニマルセラピー



虐待防止研修



防災訓練

